

児童「ピコ水力」設置

福井・中手 環境学習に役立て

出力10ワッ

福井市中手町の同市上味見生涯教育施設(旧上味見小)に5日、出力1ワッ未満の小水力発電「ピコ水力」が設置された。街灯1基の電力に活用するほか、環境教育に役立てる。発電装置の組み立てに県内外の小学生が協力した。

同町は、県が認定した実証事業の県内4地区の一つ。上味見地域の地元住民、NPO法人「自然



ピコ水力の発電でライトを点灯させ、喜ぶ児童たち。5日、福井市中手町

ほどきを受けながら、モーターにつながる回転軸に羽根を取り付け、出力10ワッのピコ水力発電装置を完成させた。

装置は長さ120センチほどの細長い立方体で、同施設前の農業用水路に設置した。ブロックなどで装置内に用水を誘導、羽が勢いよく回るよう何度も試行を繰り返した。モーターにつなげたライトが点灯すると、一斉に歓声が上がった。

2年の飯田沙蘭さん(滋賀県)は「最初は水の勢いが弱く羽根が回らなかった。みんなで工夫して、ライトがついた時はうれしかった」と笑顔を見せた。同NPOは夏のキャンプや秋冬の自然体験教室を通じて、ピコ水力を子どもたちの環境学習に役立てていく。